

いきもの と ヨシ文化

西の湖にすむ「いきもの」の存在は魅力

生息する生き物の名前だけでなく、様々な習性を知ると、より身近に感じる

野鳥の生態等を知って、面白かった

虫や鳥、植物のことが知れた

いろいろな虫や鳥の名前を知ることが出来た

いきものの気配を感じることが出来た

エリアによって、聴こえる鳥の音が違う

ウシガエルがいた

自然の命の循環があった (ヌートリアの死体にハエのウジ)

魅力を伝えるためには解説者の存在が必要

一人では気付かない鳥や自然の解説が聞けた

モズ (百舌雀) の歌の話が面白かった

マメ科のはなし (発芽) が面白かった

クモの糸 (縦糸と横糸) の話が面白かった

スマレとアリの関係、チョウの産卵の話が面白かった

昆虫や動植物の生態の解説がいい

解説者の存在で自然の示すメッセージがわかる

西の湖のヨシ文化と解説者の存在は魅力

ヨシの話がよかった (ヨシの種類、短所と長所)

ヨシの話が奥深くて楽しかった

ヨシ屋さんが日本古来の文化を残してくれていることに感動

人が生み出す風景

人がいることで生きて来る風景がある

人がいることで風景にスケール感や質感が生まれ臨場感があふれてきたことに気付いた

水路沿いの誰かが植えた花に、人の存在を感じた (愛好されている気持ちに)

地元のシニア世代の写生グループがいたことでヨシの長さが伝わって来た

遊覧船に人との会話はよかった

普段、眺めていた景色に人の思いを感じた

いろいろな人の存在に気付いた

- ・魚の調査
- ・ゴミ拾い
- ・釣り人
- ・お地藏さんの生花

普段使われていない水路の階段にも心ひかれた

人が生む残念な風景もある

昔ながらの習慣の名残りに考えさせられた
自分の土地でゴミを燃やしたり、古舟は水に沈めたり

廃車、廃船が目立ち、自然景観が損なわれていることにつかり。

捨てられている舟 (放置) が多い

色あせた看板が気になった

- ・よし笛ロード
- ・ラムサール条約

ヨシ文化を守りたい

ヨシ文化を残すことに応援したい

ヨシの作業 (手伝い) をしてみたい

守りたい気持ちは、正しく知ることから

歩くということから感じたこと

自分が感じた GOOD

歩ききった達成感がよかった

歩いた後は、クタクタになった

めっちゃ疲れた

知らなかった風景に出会えた (車の通らない道)

普段、ゆっくり散歩することがなかった、カラスの巣にちょっとキュンとした

一人では歩かないところを歩くことが出来た

木陰の身持ちよさに感動

自分が感じた NG

フラットとはいえ、一周 11km は、疲れた

1周コースと半周コースの分かれても良かった

先頭の話が聞きたくても、ついて行けなかった

西の湖を歩くため/楽しむ工夫

トイレ休憩が欲しい

水分補給の自販機などが欲しい

コースタイムに余裕が必要
観察や休息をゆっくりと確保したい、歩く速度は 25 分 / km ぐらいが適当か?

歩くためには、時期的な配慮が必要 (例えば、4~5月の開催)

参加者の振り返りの時間が取れなかった、あらかじめ地図に見所やコース設定が示されていればよかった (参加者は土地勘がないので)

参加者と解説者のトークがいい

フットパスをどのように活用していくのか?

カヌーに乗って巡りたい

WS-1 6月18日

WS-2 10月16日